

現在のがん事情と当院の取り組み

外科 松野 裕介

最近ではテレビでも「2人に1人ががんに罹る」と言われているように年々、がんは増加傾向にあります。その原因として「がんは細胞のコピーミスにより始まる」とされており、高齢化による機会の増加が主な要因といわれています。予防——コピーミスの頻度低減・修復のためには、禁煙・節酒・食生活・運動・適正体重の維持といった5項目に気をつけると良いとされ、報告によってはがんになるリスクを40%前後低下させると言われています。しかし、完全に予防することは現在の所できませんので、定期的な健診によるチェックが推奨されます。

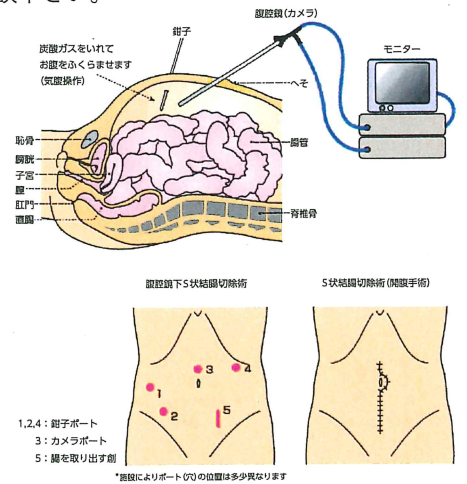
2人のうちの1人に入ってしまうがんになった場合、まず「どこの」がんなのかを理解しておく必要があります。時がんを一つの、全て同じ経過を辿る病気と捉えてしまう方もおられますが、臓器により経過は大きく変わります。聞いたことがある他の人のがんが、自分と同じものであるのかは知っておかなければなりません。次に「進行度(stage)」はどれくらいか。それにより必要な治療方法、経過も変わってきます。様々な検査から、それぞれのガイドラインに基づき進行度が決定され、手術が望ましいと判断された時、外科として説明をさせて頂くことになります。

手術については近年、鏡視下手術が広く普及してきています。以前は開胸や開腹手術でしか行うことが出来なかった内容を、専用のカメラを用いて行う方法です。腹部に関しては腹腔鏡と呼ばれ、日本では1990年に胆嚢摘出術から始まり、愛媛県でも小生の所属する医局の渡部教授が同じ年から導入され、医局として研鑽を積んで来た領域となります。腹腔鏡手術は開腹手術と比べ傷が小さいため術後の痛みが

少ないこと、それにより回復が早いことが利点として挙げられています。ただし、安全性および成績の点で、開腹手術との同等性が確保できる場合に限りです。そのため病巣の広がりや、体力面等からは開腹手術をお勧めする場合があります。時にニュースなどで医療事故でも上がってくる単語となつてしまっていますが多くの場合、対象疾患・状況が異なっており、この点も前述の「がんが全て同じなのではない」と同様に一つ一つ分けて考える必要があります。これらの事を踏まえ当院でも、ヘルニア(脱腸)・胆嚢・大腸・胃などを中心に、適切と思われる症例では積極的に腹腔鏡手術についてお話させて頂いております。また、当院では対応が困難な場合でも大学病院と連携し、より良い方法を提示できるよう努めております。個々の症例において、気になる点等がある場合はお気軽にご相談下さい。



5つの健康習慣を実践することで
がんになるリスクが低くなります



西条中央病院基本理念

西条中央病院は地域社会への奉仕の精神に基づき、生命の尊厳と人間愛を尊重し、親しまれ信頼される医療を提供します。

行動指針

1. 私達は患者さん中心の医療を提供いたします。
2. 私達は常に医療水準の向上に努めます。
3. 私達は思いやりと同心協力の心を大切にします。
4. 私達は患者さんの持つ権利を尊重します。
5. 私達は開かれた医療を進めます。

新任医師紹介

- ①氏名(ふりがな)
- ②診療科 ③卒業年
- ④コメント



- ①松野 裕介
(まつの ゆうすけ)
- ②外科
- ③平成15年

④平成30年5月から勤務させていただくことになりました、外科の松野裕介と申します。4月まで愛媛大学消化管・腫瘍外科で腹腔鏡手術を含め研鑽を積ませて頂いておりました。小野副院長先生(当院外科部長)や地域の先生方とも協力しつつ、西条市の外科医療に微力ながらも貢献できるよう、尽力して参りたいと考えております。何卒、宜しくお願い致します。



- ①西山 泰由
(にしやま やすゆき)
- ②臨床検査部
- ③昭和62年

④この度、お世話になることになりました西山泰由です。検査部で働かせていただきます。宜しくお願い致します。



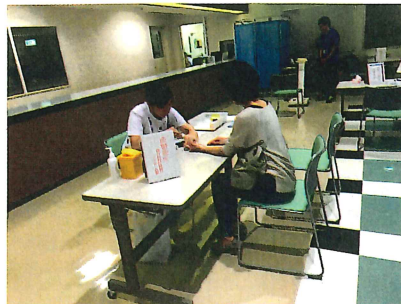
健康ふれあいフェア開催

平成30年9月14日、健康管理センターをご利用いただいている方や地域の皆様にご利用いただける健康づくりイベントを開催しました。今回のテーマは「日頃の健康管理を充実するために」「いきいきと働くために」です。健康づくりを幅広く提供できる内容となりました。

健康チェックでは血圧測定・血糖測定・血流測定・骨密度などの検査に加え、結果に対するアドバイスを行いました。体組成測定では運動トレーナーによる直接指導もあり、動機付けの機会となりました。栄養コーナーでは減塩ランチを提供し、実際に食べてみることで塩加減を学んで頂きました。「減塩だけど美味しい」という感想が多く、自宅での食事の参考になったようです。間食の目安である100kcalのおやつを提供するカフェは好評で、「普段はおやつ食べ過ぎ」などの感想がありました。運動コーナーでは体

力測定やヨガの開催を行いました。ヨガでは「リラックスできた」「身体が温くなった」と感じる方が多く、効果を体感できました。歯科コーナーではブラッシング「つまようじ法」を体験して、普段の歯磨きとの違いを感じて頂きました。メンタルヘルスでは、カウンセリング体験を実施しました。パーソナルカラー診断は自分に似合う色や元気になれる色を診断し、セルフコントロールに役立ちます。女性に大変好評で喜んで頂きました。

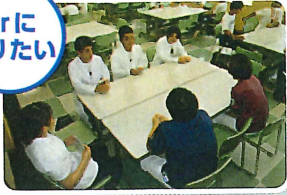
今回職域や地域の皆様にご参加いただき、「自分の健康について再認識できた」「また実施して欲しい」というご意見を多く頂きました。健康管理センターの活動が少しでも地域の健康増進や健康寿命の延伸につながることを期待しています。



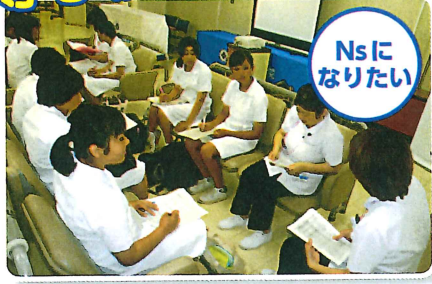


西条高等学校 病院見学実習を行いました!!

Drに
なりたい



Nsに
なりたい



セラピストに
なりたい



平成30年8月14日、西条高等学校病院見学実習を開催しました。12種類の医療系への進学を目指す生徒さん63名が参加されました。この取り組みは3年目となりますが、過去最高の参加者数となりました。参加して下さいました生徒さん、先生ありがとうございました。

【生徒さんの体験談を紹介】

- ・「私は初めて手術室に入りオペを見ました。どの医師の方も真剣な表情で取り組んでいてカッコよく見えました。僕は将来の夢を実現できるように頑張っていきたいと思います。」
- ・「案内して下さいました方、体験させて下さった看護師の方々はとても優しく丁寧に教えてくれすぐに理解できました。そして病院の雰囲気を感じることができてとても良い経験になりました。看護師になりたい気持ちが強くなりました。」

- ・「作業療法士の仕事を更に知ることができました。緊張していた私に優しく話して下さいるととても嬉しかったです。とても良い体験ができました。」
- ・「病院内の設備をたくさん知れて今まで見たことのないものも発見できた。また、さまざまな資格を持つ専門職の方々の集まりであることが実感できた。」
- ・「とても綺麗で整っているなと思いました。また、看護師さん達が優しく話し易かったです。忙しい中すばらしい体験をありがとうございました。」

以上のようなとても嬉しい感想を頂きました。これから、彼らが目指す進路に向かい、頑張っていけるようエールを送りたいと思います。当院職員の皆様一日お疲れさまでした。



これが
血管?



なりたい自分になるために
頑張るぞ!!

市民健康教室

平成30年9月22日(土)西条市総合文化会館にて「健康を守るために、聞いておきたい専門医の話」と題し、楽しく和やかな雰囲気の中、約150名の市民の方々にご参加いただき、第14回市民健康教室を開催することができました。今後もよりいっそうみなさまのご期待に沿えるよう内容を充実させていきたいと考えております。来年もたくさんの方のご参加をお待ちしております。



感染管理認定看護師の役割

感染管理認定看護師 千場美保子

現在、当院は感染防止対策加算1を取得し、感染管理認定看護師が専従で活動しています。私は、7月に感染管理認定看護師を取得し、2人目の認定看護師として活動することになりました。

認定看護師の役割は、患者さんやご家族、来訪者および医療従事者など病院に関わるすべての人々を医療関連感染から守ることです。感染に対するリスクを最小限に抑えるため、専門的な知識や技術を用いて、効果的な感染対策を計画、実践、評価し、提供することにより医療の質を向上させるといった重要な役割があります。そこで私は、手術室室長として認定看護師の活動を兼務しながら、手術を受けられる患者さんが安全・安心な医療を提供されるように、より感染対策を強化するべく活動しています。

感染管理は、目には見えないものとの闘いです。これまで人間は、目に見えない感染症に命を奪われ、今も多くの人々が闘いを続けています。どのような病原体が、どのような経路で感染するのか、そのストーリーも目には見えません。そのため、感染を100%予防することは、なかなか難しいことです。しかし、このストーリー、つまり感染経路を知り、その経路を遮断するこ

とが多くの人々の命や生活を守ることに繋がります。そこで、私たち感染管理認定看護師は、院内の様々な職種と協力して目に見えない敵と闘い、感染症を予防する対策を実施しています。

2015年5月の世界保健総会では、薬剤耐性(AMR)に関するアクションプランが採択され、各国に対して薬剤耐性に関する行動計画を策定することが求められました。そこで、厚生労働省では、2016年4月に薬剤耐性対策に関する取組みについてのアクションプランを作成しました。このアクションプランでは、「適切な薬剤」を「必要な場合に限り」、「適切な量と期間」を使用することを目指しています。当院においても、医師、看護師、薬剤師、臨床検査技師、事務員など様々な職種が集まり、薬剤耐性(AMR)チームを結成しました。今までの感染防止対策に加えて、抗菌薬適正使用のためのカンファレンスを充実させ、病院全体の薬剤耐性対策を推進しています。

今後の目標は、感染管理認定看護師として更に知識や技術の向上を図り、患者さんやご家族が安心して療養生活を送れるよう、他職種と協働で感染防止対策を実践していきます。

部署紹介 通所リハビリ

入院中のリハビリが終わり退院された方や、自宅での動作能力に不安を感じるようになられた方へ、介護保険の枠組みでリハビリテーションを提供しています。

基本的な動作に関するリハビリだけでなく、リハビリ担当者も送迎を行っていますので、自宅の環境の変化に応じたリハビリを実施しています。

また、在宅医療が必要な方も利用の対象としています。利用中に健康状態などを確認し、必要な場合は病院と連携しています。

トイレ動作や入浴動作などを通して、利用される方が自身の出来る動作を最大限行え、自宅での生活が充実して送れるようサポートします。



1日のスケジュール

8:15~ 送迎



9:20~ 健康チェック
9:40~ 朝の会
10:00~ リハビリ・入浴



11:50~ 食前口腔体操
12:00~ 昼食



治療食については、医師の指示の薬で対応させていただきます。

13:45~ 集団体操
14:00~ リハビリ・レク
14:40~ おやつ
15:00~ 帰りの会
15:30~ 送迎

日本医療機能評価機構認定

西条中央病院

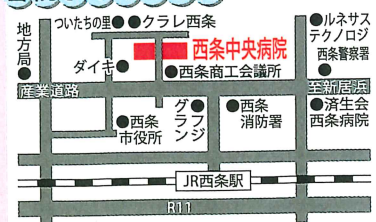
〒793-0027 西条市朝日市 804 番地
TEL (0897) 56-0300 FAX (0897) 56-0301
<http://www.saijo-c-hospital.jp/>

診療科目 内科・循環器内科・小児科・外科・整形外科・産婦人科・眼科
放射線科・リハビリテーション科・歯科・皮膚科・脳外科・泌尿器科
耳鼻咽喉科(休止中)・麻酔科(麻酔医 葛川洋介)

関連施設 血液透析センター・健康管理センター
通所リハビリテーション・居宅介護支援事業所・ついたちの里

病床種別 一般240床(うち地域包括ケア57・障害者93)感染症2床

当院までのご案内



■JR西条駅より バス15分 タクシー10分
■いよ西条インターチェンジより 車15分